

伊豆シャボテン動物公園

動物たちのベビーラッシュ 2022 春

～ ミナミコアリクイ、クロカンガルー、パルマワラビー、ミーアキャット、
プレーリードッグ、カピバラ、マーラ ～

2022年3月18日

株式会社伊豆シャボテン公園



伊豆シャボテン動物公園では、春の到来とともに動物たちのベビーラッシュが始まりました。2月～3月上旬に誕生した動物の赤ちゃんは、ミナミコアリクイ、クロカンガルー、パルマワラビー、プレーリードッグ、ミーアキャット、カピバラ、マーラなどです。

2022年2月22日(火)、ミナミコアリクイの赤ちゃん1頭が誕生いたしました。母「ココア」が生後2日目に赤ちゃんを放置してしまい、生命にかかわる危険性があったため飼育員が保護し人工哺育を開始、赤ちゃんは順調にすくすくと成長しています。

「カンガルーの丘」では、2月12日(土)にパルマワラビーの赤ちゃんが1頭、2月18日(金)と27日(日)にもそれぞれ1頭ずつの誕生が確認されました。2月14日(月)と2月28日(月)にはクロカンガルーのお腹から赤ちゃんが顔を出し、他に1頭の母親の袋の中で赤ちゃんが育っており、今後も「カンガルーの丘」のベビーラッシュは続きそうです。

また2月17日(木)、ミーアキャットに赤ちゃんが誕生し2頭が人工哺育で順調に成長しています。そして2月19日(土)、ロックガーデンにある展示場でプレーリードッグの赤ちゃん5頭が誕生、巣穴の中ですくすくと育っており来月中旬頃には可愛らしい姿が見られるようになります。

3月6日(日)と3月15日(火)には「カピバラの露天風呂」展示場でカピバラの赤ちゃんが、さらに「なかよし牧場」のマーラに5頭の赤ちゃんが続々と誕生しており、春の訪れとともに園内はますますにぎやかになってきました。

お問い合わせ先:株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部

TEL:0557-51-1115(代) URL:<https://shaboten.co.jp/>

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4





ミナミコアリクイ

【英名】 Southern tamandua, Lesser anteater

【学名】 *Tamandua tetradactyla*

【分類】 有毛目オオアリクイ科コアリクイ属

【分布】 ブラジル、ベネズエラ、パラグアイなどの南米北中部

【形態】 頭胴：35～90cm、尾長：35～70cm、体重：3.5～8.5kg

【生態】 黒色のベストを着ているように見える背中中のV字型の模様が特徴。樹上で生活するため、尾の内側に毛は生えておらず木に巻き付けて移動ができます。前肢の大きなカギ爪も特徴で、この爪は木登りだけでなく威嚇をしたりアリ塚を壊したりするのに役立ち、壊したアリ塚やハチの巣から、アリ、白アリ、ハチなどを40cmほどにもなる長い舌を使って舐めとるように食べます。最近の研究では、ミナミコアリクイのメスは平均して約44日間の発情周期があることが分かっており、妊娠期間は130～190日ほど、1回の出産で1頭の子を産みます。

【当園のミナミコアリクイ 《場所》ミナミコアリクイ展示場】 2022.2/22(火)、第5温室前の地下通路にある「ミナミコアリクイ展示場」で、1頭のメスの赤ちゃんが誕生しました。母「ココア」は、複数回の出産経験を経て少しずつ母性が芽生えつつあり、誕生翌日の朝までは赤ちゃんを抱っこして世話をしていました。しかし、残念ながら生後2日目に赤ちゃんを放置してしまい、生命の危険があったため飼育員が保護し人工哺育を開始することとなりました。以来、1日6回約3時間おきに授乳を続けており、保護当初は324.5gだった体重も現在は758.5gを超えています。

■ミナミコアリクイの赤ちゃんは、生後初日から閉園後の「ミナミコアリクイ展示場」にて、飼育員が介助しながら両親やSNSで話題となった“5きょうだい”長男「コン」、次男「ト」、三男「繫(ケイ)」、長女「アン」、四男「育(イク)」との顔合わせをしています。

※赤ちゃんの体調により中止することもあります

■今後は、「ミナミコアリクイ展示場」を仕切った一室に保育器を設置し、赤ちゃんの日々の体調や気温なども考慮しながら1日4時間ほどここで過ごすようになります。タイミングが良ければ一般のお客様も、保育器の中で過ごす赤ちゃんの姿を見ることができます。離乳期が終わる3～4ヶ月後を目途に、徐々にファミリーの元に戻れるようにしていきたいと考えています。



クロカンガルー

【英名】 Western Grey Kangaroo

【学名】 *Macropus Fuliginosus*

【分類】 有袋目 カンガルー科

【分布】 オーストラリア南部の半乾燥地帯に属する低木林

【形態】 頭胴長：80～100cm、尾長：80～100cm、体重：30～50kg

【生態】 10～12頭の群れを作り、夜間にイネ科の植物や木の葉を採食し、日中は強い日差しを避けて生活しています。前足よりも後足が発達し、時速約40kmで走ると言われています。妊娠期間は約1ヶ月で、赤ちゃんは体長約2～3cm・体重約1gの未熟児状態で生まれ、すぐに自力で育児嚢に入り、約6ヶ月後にやっと袋から顔を出します。生後8ヶ月ほどで袋から出て遊ぶようになり、約1年で自立(乳離れ)をします。

【当園のクロカンガルー 《場所》カンガルーの丘】 2022.2/14(月)に母「コハク」のお腹の袋から1頭が顔を出し、誕生が確認されました(※)。さらに2/28(月)には母「ミツバ」にも1頭の誕生が確認され、ほかに1頭の母親の袋の中に赤ちゃんがおり、時おり袋の口から足先をのぞかせたり、袋の中でしきりと動いたりしています。今後は、ぽかぽかと暖かい日には赤ちゃんが頻りに顔を出すようになり、さらに2ヶ月ほどすると袋から外に出る姿が見られるようになります。

(※)有袋類は非常に未熟な状態で生まれるため、当園では赤ちゃんが初めて袋から顔を出し、飼育員がそれを確認した日を「誕生日」としています。



パルマワラビー

- 【英名】 Parma Wallaby
- 【学名】 *Macropus parma*
- 【分類】 有袋目 カンガルー科 ワラビー属
- 【分布】 オーストラリア南部、パス海峡のキニグ島と他の小島、タスマニア
- 【形態】 頭胴長：45～50cm、尾長：45～48cm、体重：4～5kg
- 【生態】 森林地帯で単独もしくは少数の群れを作り生活をしている夜行性の動物です。妊娠期間は約 30 日で、1 回の出産で 1 頭を出産します。生まれたての赤ちゃんは毛もなく目も見えず、1～2cm の未熟な状態で母親の腹部の道を通って育児嚢に入ります。生後約 6 ヶ月で袋から顔を出すようになり、授乳は生後約 1 年続きます。

【当園のパルマワラビー 《場所》カンガルーの丘】 2022.2/12(土)に 1 頭、2/18(月)に 1 頭、2/27(日)に 1 頭の赤ちゃんの誕生が確認されました(※)。お腹の中で赤ちゃんが育っている母親があと数頭いるため、さらににぎやかになりそうです。

(※)クロカンガルー同様、当園では赤ちゃんが初めて袋から顔を出し、飼育員がそれを確認した日を「誕生日」としています。



ミーアキャット

- 【英名】 Meerkat
- 【学名】 *Suricata suricatta*
- 【分類】 食肉目 マングース科
- 【分布】 アフリカ南部
- 【形態】 体長：25～31cm、体重：700～1000g
- 【生態】 体毛は褐色から灰色で、背部には暗褐色の横縞模様があります。地下に巣穴を掘り、10 頭以上の群れを形成する社会性のある動物です。他のマングースの仲間とは異なり昼行性で、後肢と尾を使って直立して日光浴をします。この姿勢はあたりの様子を警戒するためでもあり、採食中の群れの中には必ず見張りを務める個体があります。食性は動物食性で、主に昆虫や小鳥、トカゲなどを食べます。

【当園のミーアキャット 《場所》アニマルポート ミーアキャット展示場(公開未定)】 2022.2/17(木)にアニマルポートトアーズ沿岸の展示場で赤ちゃんが誕生しました。しかし、母親の具合が悪くなってしまい十分な授乳ができないことから、代わりに飼育スタッフが世話をする人工哺育に切り替えました。現在、2 頭の赤ちゃんが順調に成長しており、今後は少しずつ外の環境に慣れる練習を行う予定です。



プレーリードッグ

- 【英名】 Black-tailed prairie dog
- 【学名】 *Cynomys ludovicianus*
- 【分類】 齧歯目 リス科 プレーリードッグ属
- 【分布】 北米の草原地帯
- 【形態】 体長：30～40cm、尾長：7～10cm、体重：700～1,400g
- 【生態】 とても社会性の強い齧歯類で、何百頭もの個体がいる「タウン」(地下に張り巡らされたトンネルと部屋のネットワーク。最大 65ha に達する)に暮らしています。食性は草食性で主にイネ科やカヤツリグサ科を食べます。リスの仲間であるが鳴き声が犬に似ている為、プレーリー(草原)のドッグ(犬)と呼ばれています。仔は生後 6 週で地下から外へ出てきます。

【当園のプレーリードッグ 《場所》ロックガーデン プレーリードッグ展示場】 2022.2/19(土)にロックガーデンにあるプレーリードッグ展示場で 5 頭の赤ちゃんが誕生し、母親とともに展示場内の巣穴の中で暮らしています。4 月中旬頃には天気の良い日に一定時間だけ展示場に出し、群れの大人たちと顔合わせをしながら外の環境に慣らす練習をしていく予定です。



マーラ

- 【英名】Mara
【学名】*Dolichotis*
【分類】齧歯目 テンジクネズミ科
【分布】南アメリカ(アルゼンチンなど)
【形態】体長:60~70cm、体重:7~9kg
【生態】草原や岩の多い荒地で数十頭の群れを形成して暮らしており、食性は草食性です。当園では、キャベツ・にんじん・リンゴ・サツマイモ・パン・小松菜などを与えています。野生下では一夫一妻制で、繁殖期には大きな集団を作り、それぞれの子供たちを共通の巣穴で育てます。一度の出産で1~3頭の赤ちゃんが生まれ、生後4ヶ月くらいまで授乳をします。

【当園のマーラ 《場所》なかよし牧場】2022.3/1(火)からベビーラッシュを迎え、現在までに5頭の赤ちゃんが誕生しました。当園のマーラは「太陽の広場」「カピバラ虹の広場」「なかよし牧場」の3か所でのんびりと暮らしています。今後は、赤ちゃんの成長具合や体調、天候を見ながら、3/19(土)頃から5頭の赤ちゃんを「なかよし牧場」で一般公開する予定です。赤ちゃんが展示場で過ごすタイミングに合えば、両親の後をついて歩いたり、同い年同士でくっついてじやれたり休んでいたりと、微笑ましいシーンを見ることができます。



カピバラ

- 【英名】Capybara 【学名】*Hydrochoerus hydrochaeris*
【分類】齧歯目 カピバラ科
【分布】南米アンデス山脈の東側
【形態】体長:100~130cm、体重:約50kg
【生態】齧歯目(ネズミの仲間)の中で最も大きく、体重は50kgほどにもなります。長くて荒い毛がまばらに生え、四肢の指に小さな水かきがあり、尾はほとんどありません。20~30頭の群れで水辺近くの草原に住んでおり、泳ぎや潜水が得意です。食性は草食性で、当園ではキャベツ・さつまいも・にんじん・りんご・青草・乾草・草食動物用固形飼料などを与えています。妊娠期間は約5ヶ月、一度の出産で1~8頭が生まれます。赤ちゃんは生後2~3日で草やキャベツなどを囓りはじめ、授乳は1日4~8回、3ヶ月程で離乳をします。

【当園のカピバラ 《場所》カピバラの露天風呂展示場】2022.3/6(日)にカピバラの露天風呂展示場で、父「ふたまる」と母「チーニ」の間に1頭の赤ちゃんが誕生しました。さらに、3/15(火)には父「ふたまる」と母「ゆげ」の間にも赤ちゃんが誕生し、3/16(水)からは赤ちゃん全頭が現在開催中の“露天風呂”に入り始めました。

伊豆シャボテン動物公園

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1317-13 TEL: 0557-51-1111(代)
URL: <https://izushaboten.com/> 詳細はホームページをご覧ください

入園料金:中学生以上 2,400円、小学生 1,200円、幼児(4歳以上)400円